

# JC PRESS 2023

春号  
2023年4月発行



第50代理事長  
中村文亮

2023年度  
小金井青年会議所スローガン  
**一所懸命**  
～誠実であれ～

## ～ はじめに ～

戦後の荒廃の中「新しい日本の再建は我々青年の仕事である」という志のもとで日本の青年会議所運動は始まり、私たち小金井青年会議所は1974年3月21日、初代理事長関口弘治先輩をはじめとする志高き先輩方により、全国で557番目の青年会議所として産声を上げました。設立当時から現在に至るまで多くの方々のお力添えによって私たち小金井青年会議所は活動を続けていくことができました。平素より小金井青年会議所を支えていただいている小金井市長白井亨様をはじめとする行政関係の皆様、小金井市内関係諸団体の皆様、賛助会員の皆様、各地会員会議所理事長をはじめとするメンバーの皆様にご心より御礼を申し上げます。また我々の青年会議所活動を温かく見守って下さる小金井青年会議所シニアクラブ会長村越政雄先輩をはじめとする諸先輩の皆様にも改めて感謝申し上げます。

脈々と受け継がれてきた小金井青年会議所は平成から令和へと新しい時代を迎えた矢先、突如世界中が新型コロナウイルスの脅威に晒され、難しい選択を迫られる時代に突入しました。

一時的に事業を中止せざるを得ない状態にはなりましたが、新型コロナウイルスの脅威の中でもメンバーが率先して行動することにより、社会奉仕活動、コロナ禍でも実現可能であった地域貢献事業等、有事の際にもリーダーシップを遺憾なく発揮してまいりました。未だにコロナ禍の影響が残る中ではありますがWEBシステムを活用した会議や例会を行うことで運動を止めることなく続けてまいりました。そして2023年、私たち小金井青年会議所は50周年という節目を迎えることができました。私たちはどんな困難な状況でも臆せず率先して行動できる小金井青年会議所を繋いで後世に残していきます。

## ～ 一所懸命 ～

私は小金井青年会議所に2013年12月に入会しました。

当初の2年間は日々の会社運営に追われてまともに青年会議所活動へ参加することが叶いませんでした。青年会議所がどのようなところなのかもわからず、このまま発展性もなく会社運営をこなしていくだけの人生は本意ではないという焦りだけを感じながら同じように繰り返す日々を送っていました。

その折、入会のきっかけをくれた先輩からお声がけを頂き、近隣LOMの例会に参加をしたことが私の人生の大きな転機となりました。

例会の講師は2009年公益社団法人日本青年会議所第58代会頭、安里繁信先輩でした。小さな運送会社の後継者であった安里先輩は、日々の青年会議所活動を通じて、普段の会社業務を通じて

は到底交流することのできなかったであろう多様な業種の人と出会い、一つの目標に向かって議論をするとともに、そこに集う人々の様々な価値観に触れ、人生が180度変わったことをお話しくできました。私はその熱く語る姿に驚きと感銘を受けました。当時の私が、「青年会議所に一所懸命に取り組めば何かが変わるかもしれない」と、青年会議所活動に夢を見出し、前向きに活動しようと決意した瞬間でした。

しかし、社会人経験が少なく苦手な事を避けてきた私には多くの困難が待ち構えていました。特に、日々の生活において文章作成を行ってこなかった私にとって、議案などの文章を作成することは新しい体験で、日々の多忙な会社業務との板挟みに、何度も心が折れそうになりました。そのような中、当時の青年会議所の先輩方には毎日のように叱咤激励を頂き、特に、真夜中にもかかわらず駆けつけて勇気を与えてくれた当時の委員長には今でも感謝の念に堪えません。

この10年間、多くの異業種の仲間との友情を育みながら自身だけでは得られない知識を学び、経験を重ねてきました。多くの失敗もしてきました。しかしその失敗さえも糧として日々の青年会議所活動、さらには社業にも活かしてきました。

青年会議所の三信条として「奉仕」「修練」「友情」があります。今までの青年会議所活動を通じて、この三信条を強く体感してまいりました。私が小金井青年会議所における第50代理事長の職をお預かりさせていただいてからも、常にこの三信条に立ち返り、一所懸命に活動を続けて参る所存です。

その為の取り組みとして、2023年度の小金井青年会議所は、一所懸命に、小金井市における日々の課題を解決し、より良い未来を創造していくため、ひとつづくり、まちづくり、会員拡大、夢づくり、出向の機会を5本の柱に掲げ、邁進してまいります。

## ～ ひとつづくり ～

ひとつづくりは、メンバー一人ひとりが自身の成長を感じ、それぞれの人生を豊かにし、明るい豊かな社会の実現するために必要なことです。

自身の成長にはまず自分自身を見つめ直し自分を知ることから始まります。「会社業務の中で責任をもって業務遂行できているか」「家族の一員として支えられているか」といった自らの周囲について考えるのはもちろんのこと、「日々の青年会議所活動へ誠実に取り組んでいるか」自身の役割を振り返り、仲間に負担が偏っていないか、隣にいる仲間に頼りすぎていないかと慮ることが肝要です。

小金井青年会議所では多くの頼れる仲間に出会うことができます。事業構築を通じて、多くの人の助けを借りながら日々成功と失敗を繰り返し、自分を見つめなおすことで成長し、信頼関係を築い

ていくことができる、それが小金井青年会議所であります。これからも我々が地域の中心となって活躍するためには、より一層人間力を磨く必要があります。人は人でしか磨かれません。

青年会議所では、多くの役職を経験する機会があり、メンバーの自己成長に繋がります。それが青年会議所という団体の魅力です。本年の50周年事業は、メンバーにリーダーシップトレーニングの「機会」を提供するまたとない場でもあります。メンバーは率先してその機会に取り組み、研鑽をしております。メンバーには、この成長の機会を活かして仲間とともに成長することで、人生を豊かにし、明るい豊かな社会に貢献することを切に願います。

## ～ まちづくり ～

小金井市は4キロメートル四方、人口12万人、小金井公園・武蔵野公園・野川公園があり、自然と人が調和するベッタウンです。近年、駅周辺の開発など、まちに大きな変化が訪れています。子育て世代が小金井市に流入して、人口全体は増加しておりますが、あらゆる世代が住みやすい環境づくりを、我々青年は考えていく必要があります。

小金井青年会議所では長年地域課題を調査、研究するとともに、その課題を解決するために尽力してまいりました。諸先輩方がつないできた誠実な課題解決への取り組みは、現在も受け継がれております。

昨年小金井青年会議所では、小金井市における子どもの貧困について調査研究するとともに、その解決に向けての方法をメンバー及び地域の方々とともに検討する等課題解決への取り組みを行いました。地域団体としての小金井青年会議所が地域貢献をしていくためには、小金井市に住む人々や小金井市で働く人々にとって今必要なこと、解決すべき課題は何か、これから想定される課題は何か、メンバー一人ひとりが自分のこととして捉え、客観的な根拠に基づいて課題を調査研究していくとともに、特定した課題を解決していくため、バックボーンの異なる各メンバーの議論を出発点に、時には地域の関係諸団体と協力しながら事業展開をしていくことが何よりも重要です。

今年50周年を迎える小金井青年会議所は、諸先輩方が現役のメンバーに残し、運動の礎としてきた調査・研究の姿勢を受け継ぎ、地域課題に対して誠実に取り組むと共に、メンバー全員で小金井というまちの未来を考えてまいります。全市民アンケートにて収集した小金井市民の地域課題に対する切実な生の声はもとより、市内事業者への聞き取り調査や小金井市が発表している基本構想の分析などを通して、様々な地域課題を探索してまいります。

そして、多種多様な職種、価値観を持った各メンバーの培ってきた経験等を遺憾なく発揮し、小金井の地域課題の解決に向けた運動、発信を行い地域に貢献してまいります。

## ～ 会員拡大 ～

青年会議所の大きな特徴は、様々な職種・職位、多様な価値観を持ったメンバーが相集い、力を合わせ、組織として活動するところにあります。より充実した「ひとづくり」「まちづくり」をしていくためには、小金井青年会議所において様々な業種、価値観をもった人材がより多く集まり、信頼を深め、日々の活動していくことが不可欠です。

小金井青年会議所のメンバーは現在34名です。本年50周年を迎えた小金井青年会議所は半世紀という長い歴史が存在します。私たちはこの歴史を次の世代に繋ぎ、これからの半世紀をこれまで以上に小金井のまちに貢献していかなければなりません。そのためには、メンバー全員が当事者としての気概を持って積極的に会員拡大に取り組み、人の和を広げ、多様性のある持続可能な組織を目指す必要があります。本年は50周年の節目を会員拡大のチャンスととらえ、会員数50名を目標とし、その達成に一所懸命に取り組みます。その為に新たなるネットワークを構築し、より多種多様な人との関わりを育みます。小金井青年会議所の魅力と運動を様々な方法を使い発信してまいります。

私はメンバー一人ひとりに少しでも多くの知り合いがいれば、入会のきっかけになる人との出会いも多くなり、少しでも多く話す機会があれば、きっと同志を見出すことが出来ると信じています。そのためにも、本年は多くの同志を見出し、一緒に活動する仲間を増やしていく機会を創出してまいります。

## ～ 夢づくり ～

リーダーとは夢を語り、進むべき方向を示し、皆を導く人です。

青年会議所は日本を明るい豊かな社会にする団体です。だからこそ、我々青年会議所に所属するメンバーは自分たちが夢描く最高の未来を創造し、その夢を現実にするべく全力で語り合い、それを実現できるように導けるリーダーとなるべく成長をする必要があります。

成長の機会はただ与えられるものではなく、主体的な姿勢を持って、自らがつかみ取るものでもあります。自分に限界を作らず積極的に挑戦することであらゆる経験が成長の機会になります。青年会議所活動は40歳までしかできませんが、その活動の中で多くのかけがえのない仲間と出会うことができます。

一人ではたどり着かないと思えるような目標も仲間とならきとたどり着けるはずで。

小金井青年会議所は、志を同じくする仲間とともに運動し、自己修練を積むことで、青年会議所内外においてリーダーとして地域により良い変化を与えてきました。

50年間にわたり先輩方が築きあげた歴史・伝統・夢を次世代に繋ぎ、青年会議所の目的・使命・価値観をしっかりと後世に伝えることで組織を活性化させ、今後もより地域に信頼される組織であり続けるとともに、夢のある地域社会へ繋げてまいります。

## ～ 出向の機会 ～

青年会議所には日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会、日本青年会議所関東地区協議会、日本青年会議所本会へと視点を大きく広げる仕組みがあります。組織の外へ、ほんの少しの勇気と目的意識を持って飛び込むことにより、志を同じくする仲間たちによって、今までの人生の中だけでは経験することの無い出向や経験をすることが可能となります。自身が持つ現状の価値観だけに満足することなく、変化に挑み、変化に強い者へと成長する為に50周年の本年は昨年以上の出向者を輩出し、メンバーの成長をより応援する取り組みを行います。出向制度を活用し、あらゆる可能性が広がる運動を行ってまいります。

2023年度もこの出向の機会を最大限に活用し、多くの同志との出会いの機会を自らの成長の糧とするのはもちろんのこと、その学びを出向していないメンバーにも伝えることで小金井青年会議所の更なる組織力向上を目指します。

## ～ 結びに ～

人は誰も一人では生きていくことはできません。多くの人の支えがあるからこそ生きていけます。私たちは様々な運動や活動を通じて多くの仲間たちと切磋琢磨しながら自己修練に努めています。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの発生より3年が経ち、当たり前のことが当たり前でなくなってしまった時代に、家族や職場の方々の多大なるご理解、地域・関係諸団体の皆様のご協力があってメンバー一人ひとりが今、活動できていることに感謝をし、青年会議所として何をしなければならぬのか、青年会議所だからこそできることは何なのかをしっかりと考え、メンバー全員で一所懸命の精神を持って臨んでまいります。

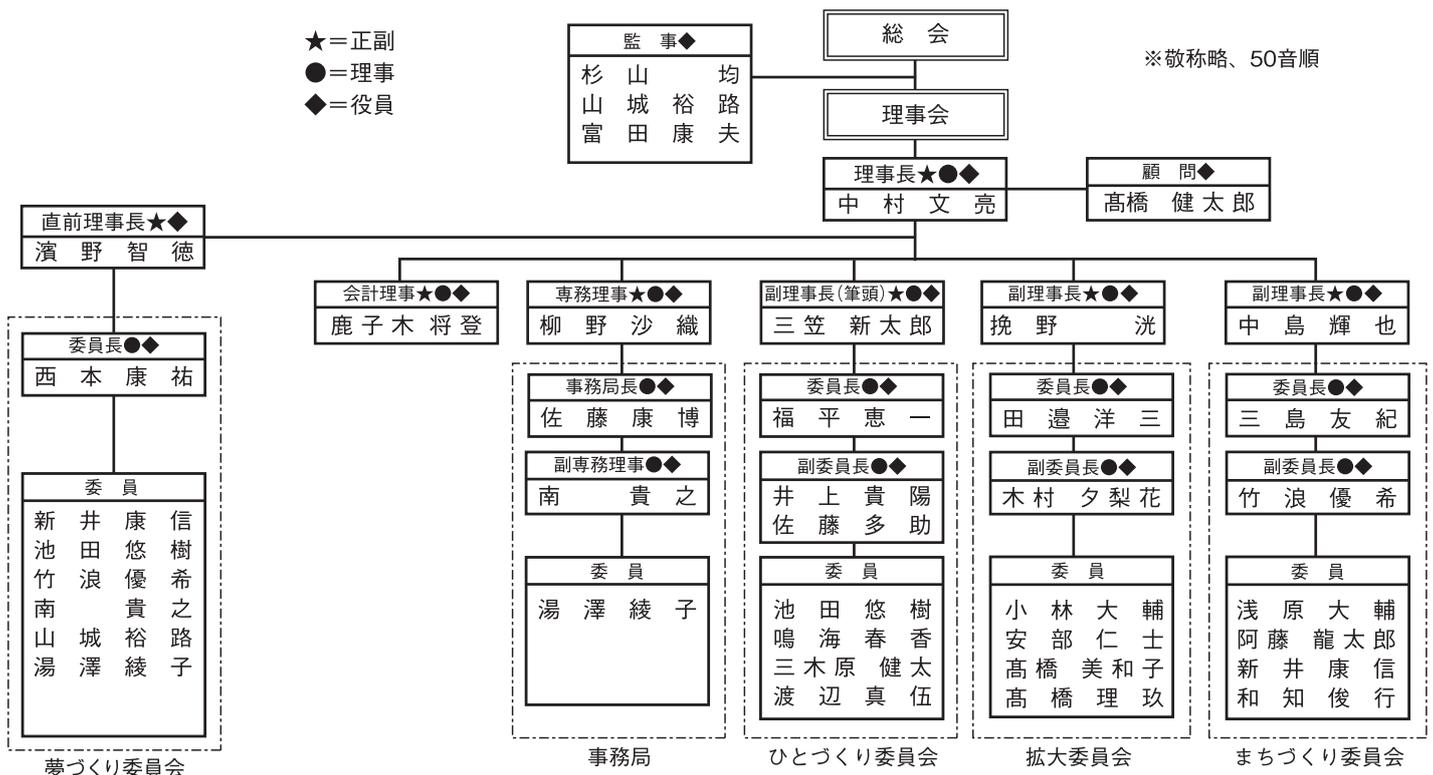
50年間築いてきた青年の学び舎としての小金井青年会議所を今後100年間持続可能な組織として守りながら、時代の変化に対応しながらも誰一人として取り残すことのない「明るい豊かな社会」を目指して、愛をもって未来の夢へと繋いでまいります。

皆様の更なるご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。2023年度小金井青年会議所第50代理事長としての所信とさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願ひ致します。

## 2023年度 年間行事

日付		LOM行事 (例会・総会)	担当	正副・理事会	東京ブロック・関東地区	日本JC・JCI
1月	6日(金)	第808回例会(賀詞交歓会)	事務局	13日 第1回正副 24日 第1回理事会	9日 会員会議所会議 9日 合同公式訪問 シニアクラブ理事会	19日~22日 京都会議
2月	16日(木) 22日(水)	第121回総会 第809回例会(自由例会)	事務局 ひとづくり委員会	3日 第2回正副 21日 第2回理事会	11日 アカデミー開校式 27日 会員会議所会議 27日 副会頭公式訪問 シニアクラブ総会	
3月	23日(木)	第810回例会(自由例会)	拡大委員会	3日 第3回正副 14日 第3回理事会	7日 会頭公式訪問 27日 会員会議所会議 シニアクラブ理事会	25日 日本JC総会 (東京)
4月	20日(木)	第811回例会(自由例会)	まちづくり委員会	7日 第4回正副 18日 第4回理事会	24日 会員会議所会議 ブロック野球大会	
5月	18日(木)	第812回例会(卒業生例会)	夢づくり委員会	12日 第5回正副 23日 第5回理事会	29日 会員会議所会議 シニアクラブ理事会	10日~13日 ASPAC (ジャカルタ)
6月	25日(日)	第813回例会 (4LOM合同例会)	拡大委員会	2日 第6回正副 20日 第6回理事会	18日 東京ブロック大会(あきる野) 25日 わんぱく相撲都大会(西東京) 26日 会員会議所会議	4LOM合同例会 (主管:武蔵野)
7月	20日(木)	理事長監事選出委員会選挙 第814回例会(市長例会)	まちづくり委員会	7日 第7回正副 18日 第7回理事会	1日 関東地区大会 31日 会員会議所会議 シニアクラブ理事会 JCカップ	22日・23日 サマーコンファレンス (横浜)
8月		拡大事業	拡大委員会	3日 第8回正副 15日 第8回理事会		
9月	7日(木) 9日(土)	第122回総会 第815回例会(50周年事業)	事務局 ひとづくり委員会	1日 第9回正副 19日 第9回理事会	3日 会員会議所会議 シニアクラブ理事会	7日 総会(東京)
10月	5~9日 14・15日(土・日)又は 21・22日(土・日)	第816回例会(全国大会) 第817回例会(市民まつり)	まちづくり委員会 拡大委員会	5日 第10回正副 17日 第10回理事会	21日 会員会議所会議 21日 さよならブロック(立川)	6日~8日 全国大会 (東京)
11月	16日(木) 30日(木)	第818回例会(新人例会) 第123回総会	夢づくり委員会 事務局	10日 第11回正副 21日 第11回理事会 22日 合同理事会	26日 ありがとう関東地区(千葉) 27日 会員会議所会議 シニアクラブ理事会	14日~18日 世界会議 (チュールリッヒ)
12月	2日(土)	第819回例会 (卒業式・納会・忘年会)	事務局	8日 第12回正副 19日 第12回理事会		

## 2023年度 小金井青年会議所 組織図



## 2022年度 事業報告

2022年度 小金井青年会議所  
第49代理事長 濱野 智徳



中庸

～大切な仲間とともに日々の課題に取り組む続ける～

### はじめに

本年度、小金井青年会議所は「中庸～大切な仲間とともに日々の課題に取り組む続ける～」をスローガンに掲げ、地域とのつながりの強化、人材の育成、ビジネスの機会の創出を柱に、青年会議所運動に邁進しました。小金井青年会議所の一年間の運動に深いご理解とご協力を賜りました、小金井市長白井亨様をはじめとする行政関係の皆様、小金井市商工会会長山田勝由様をはじめとする地域関係諸団体の皆様、賛助会員の皆様、そして小金井青年会議所シニアクラブ会長村越政雄先輩をはじめとする先輩諸兄姉に改めて心から御礼を申し上げます

### ○第796回例会 「新年賀詞交歓会」

本年も例年通り1月6日に「新年賀詞交歓会」を、小金井宮地楽器ホールにて開催いたしました。多くの来賓・来訪 JC・OB・オブザーバーの皆さまの前で、一年間の運動方針を発表させていただきました。新年賀詞交歓会を開催する事で、新たな一年が始まったという意識を持ち、2022年度小金井青年会議所の会員一人一人にとって、メンバーシップを培う機会となりました。

### ○第797回例会 「健康であり続ける社会をつくる ～健康経営®について～」

2月24日に経済活性化委員会担当で、大塚製薬株式会社五十嵐博文様に健康経営・ウェルビーイング経営についてご講演いただきました。第二部では、4つの質問に対して自身の意見を付箋に書き、心と体の課題と改善と施策のアイデアに分け、グループ毎に意見交換を実施し、各グループよりまとめを発表いただきました。企業が従業員の健康維持・増進を考える重要性を学び、自身の会社や所属団体で取り組みを始めるきっかけをつくってもらうことができました。

### ○「ウクライナ募金事業」

3月6日にソコラ武蔵小金井クロス広場前にて、2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことにより、ウクライナにおいて発生している難民の支援のため、小金井市民から募金を集めました。118,000円の募金が集まり、国連UNHCRを通して寄附を行い、感謝状をいただきました。

### ○第798回例会 「JCI Admin」

3月18日にひとつくり委員会担当で、日本青年会議所が提供するトレーニングプログラム「JCI Admin」を群馬ブロック協議会前橋青年会議所の加藤三佳ヘッドトレーナーをお招きし受講しました。2022年度は新理事5名、新委員長4名となりましたので、新理事が多くなっても LOM の運営が滞りなく行えるように、LOM 全体の観点から、理事会の構成、会議の進行、LOM 計画作りを学びました。

### ○第799回例会 「地域団体 × 地域団体」

4月21日にまちづくり委員会担当で、地域団体13団体の皆様をお招きし、各地域団体に所属する参加者の皆様から団体紹介（目的、活動趣旨、日ごろの活動、コロナ禍での取り組みや困りごと）を頂きました。そして、まちづくり委員会の方で取りまとめをした小金井市民の抱える課題と地域団体の抱える課題を参加者と共有するために、まとめ発表をしました。第二部では、「協力、協働により新し

く事業を行うのであれば何が出来ますか」をテーマにグループディスカッションを行い、第三部では、一般社団法人観光まちおこし協会事務局長千葉幸二様、情報受発信担当山本幸則様に講演いただき、地域団体同士が繋がり、その繋がりをどのように生かしていくかを講演いただきました。地域団体同士で課題の共有、課題の解決の為に議論を行い、今後の協働をするきっかけを作りました。

### ○第800回例会

#### 「日本は格差社会?現状の問題点と対策とは」

5月19日に経済活性化委員会担当で、元一橋大学特任教授福田泰雄様より格差社会に関して現状、原因、問題、そして持続可能な社会にするために必要な事をご講演頂きました。第二部では昨年度の全市民アンケートからの抜粋意見や社会福祉協議会様からの聞き取り内容をご紹介した後に、小グループに分かれて「紹介した小金井市の格差・貧困についてどう思いましたか」「効果のある対策は何だと思いますか」という二つのお題に対して意見を出し合いまとめを発表していただきました。私たちが生活しているこの社会での貧困・格差の本質を学び、小金井市内で起きている格差について考える機会となりました。

### ○第801回例会 「第51回東京ブロック大会武蔵野 大会4LOM 合同例会「ビジネスの機会とは何か!？」

6月19日に50周年準備検討委員会の担当で、4LOM 合同例会を行いました。〔元〕株式会社出前館 取締役 COO 藤原彰二氏の講演、西東京青年会議所理事長 山田裕太君をファシリテーターとして、藤原彰二氏、東京都商工会青年部連合会 会長河合敬則氏、公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会 第47代会長藤原英作先輩をパネリストとしてトークセッションを行いました。他団体や企業の話の聞き、参加者が「ビジネスの機会」について理解を深めました。

### ○第802回例会 「市長例会」

7月21日にまちづくり委員会の担当で、西岡真一郎市長より、小金井市の施政方針および第五次基本構想・前期基本計画について、小金井市の今ある課題と、未来に向けての中長期的な施策のご講演をいただきました。第2部では、2021年度まちづくり委員会で作成・提出した提言書の進捗状況を、ご報告をいただきました。第3部では、【若者を巻き込める事業やイベントを考えよう】をテーマに、3つのグループ分かれてグループディスカッションを行いました。各グループの発表の後、市長から講評を頂きました。これより先の小金井市をどう描いていくのか、私たちの想いがどのように反映、また検討されたのかを知り、今後の小金井市について議論をすることができました。

### ○第803回例会 「JCI小金井における今後の事業 構築を考えよう～他LOMの事業を参考に～」

8月25日にひとつくり委員会の担当で、日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会小美野義一会長ほか、狛江青年会議所の荻花英寿氏、一般社団法人国分寺青年会議所の藤崎麻子氏をお招きし、各LOMで開催した事業を紹介していただき、紹介いただいた事業に関して、小美野会長とのトークセッションを通して、事業開催の背景や工夫した点、あるいは事業を振り返ってみて失敗してしまった点などを分析、講演いただきました。また、同講演にて紹介解説いた

だいた事業を踏まえて、会員が各班にわかれてJCI小金井の活動状況と比較を行い、今後JCI小金井では今後どのような活動をしていることが想定できるのか、具体的なビジョンを育みました。

### ○第804回例会 「新しい支援のカタチを考えよう」

9月15日に経済活性化委員会の担当で、小金井市内で子ども食堂や支援活動しているNPO法人地域の寄り合い所また明日森田眞希様と特定非営利活動法人みんなのおうちりんごっこハウス邦永洋子様、貧困の子供やその家族への支援の必要性と、地域の特性を活かした支援の重要性についてご講演頂きました。また、第二部では企業・団体・個人で行える支援について考え、支援先どのように活用すればより効果的な支援内容に繋がるのかワークショップにて意見交換を行いました。小金井市内において、経済的困難を抱えている人が効果的な支援を受け安定した就労や十分な教育機会を与えられているのかを考える機会となりました。

### ○「事務局移転」

事務局の施設及び設備の老朽化により、度重なる漏水が発生しており、備品の保管が難しくなっていました。また、地下であるため携帯電話の電波が入らず、現代の青年会議所運動に対応する通信環境の構築が難しくなっていました。このため、7月14日に臨時総会を行い、定款22条(2)事業計画及び収支予算の決定及び(8)その他特に重要な事項にあたる事務局移転(案)について承認し、9月17日に事務局の移転を行いました。

### ○第805回例会 「こがねいハロウィンフェスティバル」

10月16日に、まちづくり委員会の担当で、梶野公園にて、小金井市内の地域団体に所属しているの方々をお呼びして、地域団体ブースを設営いただき、地域団体の紹介や対外的な発信を行いました。一般参加者と地域団体、また地域団体同士の交流、ネットワーク作りの一助となりました。

また、各パフォーマーによる舞台パフォーマンス、飲食ブースを設置して、多くの来場者に恵まれ、終始途切れる事なく多くの方にイベントを楽しんで頂き、地域団体の発信の場とすることができました。ハロウィンをテーマに会場内もハロウィンでデザインして一般の方が入場しやすく、通りがかった人に目に留まるように設営しました。小金井市において多くの地域団体が活動していることを知っていただくことにより、来場者の方々に、小金井市に興味関心を持っていただくことの一助となりました。

### ○第806回例会 新人例会「疲れを取りたいあなたへ」

11月17日に、新人メンバーが中心となって組織される新人例会実行委員会の担当で、一般社団法人フィールド・フロー認定コーチの台本尊之氏をお招きし、平昌パラリンピック金メダリスト新田佳浩選手(クロスカントリー)を始めとする、トップアスリートへの実際に行われたコミュニケーション心理学をもとにした、スポーツメンタルコーチングをご紹介頂き、スポーツの世界だけではなく、ビジネスの世界でもある「ストレスや心の疲労」の取り除く方法と、それらを溜め込まない習慣作りについてご講演頂きました。同講演にてご紹介頂いた内容を踏まえて、会員がいくつかのグループに分かれて、意見交換や共有をして、参加した会員が、ストレスや心の疲労を取り除く方法とそれらを溜め込まない習慣作りを学び、今後のそれぞれの仕事、職業生活、小金井青年会議所での活動で、実践することによりストレスや心の疲労を少しでも軽減する一助となりました。

### ○小金井市長選挙 立候補予定者公開討論会

11月18日に直前理事長の担当で、小金井市長選挙の立候補予定者の政策や人柄を知ってもらい、小金井市政に関心を持ってもらうこと、公開討論会を通じて小金井市政に対する関心を高め、市民の政治参画意識を高めるためにすべきことに対してメンバー一人一人が意識を持てるようになることを目的として、公開討論会を企画しました。しかし、候補者が一人しか集まらず、残念ながら中止となりました。

ました。

### ○第807回例会 「卒業式」・「納会」

12月3日に小金井市商工会館萌え木ホールにて「卒業式」・「納会」開催しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して例年おこなっている「忘年会」は中止とさせていただきます。

このような中、小金井市長白井亨様をはじめとする行政関係の皆様、地域関係諸団体の皆様、賛助会員の皆様、小金井青年会議所シニアクラブ会長磯野茂先輩をはじめとする多くの先輩にご臨席賜りました。

今年の卒業式では、杉山均君、清水薫君、藤木裕太君、鈴木一史君、小野智弘君、清水学君の新たな門出をお祝いし、小金井青年会議所の伝統でもある笑いあり涙ありの素晴らしい卒業式となりました。

納会では1年間の活動のご報告をさせていただくとともに、第50代理事長の中村文亮君へプレジデンシャルリースの伝達を行い、無事に2023年度へのバトンを渡すことが出来ました。

### ○御 礼

中庸というスローガンのもと、1年間素晴らしい事業や運動を展開してくれた小金井青年会議所メンバーの皆様へ、改めて感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。専務理事の三笠新太郎君をはじめとする多くの皆様の支えがあり、理事長という職を全うすることが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、対面での事業ができない状況でも、大切な仲間とともに日々の課題に取り組み続け、考え抜いて行動してくれたからこそ、いくつもの素晴らしい例会が実現できたのだと感謝してやみません。

2023年度は中村理事長の下、49年間先輩方が紡いできた歴史や伝統に、新たな若い力を織り交ぜ、それを昇華させ、大きな節目となる50周年へ向けて邁進してくれることを確信しています。2022年度の小金井青年会議所に携わっていただいた、全ての方々に心から御礼を申し上げ、2022年度の事業報告とさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。



### 第807回例会「卒業式」

小金井市商工会館2階 12月3日(土)

2022年度は、杉山均君、清水薫君、藤木裕太君、鈴木一史君、小野智弘君、清水学君の6名が卒業しました。新型コロナウイルス感染対策を行い、久しぶりの例年通りの卒業式の設営となり、また入会の浅いメンバーにとっては初めての卒業式となりました。多くの来賓・OBの方々に来場いただき、卒業式独特の緊張感がメンバー全員から伝わってきました。

卒業生からの答辞については後輩メンバーに対しとても熱い想いで気持ちを伝えてくださいました。卒業生のそれぞれの想いをしっかりと引継ぎ、今後の青年会議所活動に活かしていきたいと改めて思いました。先輩になるメンバーにおかれましては後輩たちが迷った時には是非相談に乗っていただき、これからもご指導ご鞭撻のほどお願い致します。

一年の締めくくりとして多くのメンバーで卒業生をお祝いでき「中庸～大切な仲間とともに日々の課題に取り組み続ける～」のスローガンに沿った卒業式になったと感じます。卒業生の皆様、本当にご卒業おめでとうございます。

経済活性化委員会 委員長 柳野 沙織



## 第807回例会「納会」

小金井市商工会館2階 12月3日(土)

本例会では濱野理事長に小金井青年会議所の2022年の活動内容を、パワーポイントを使いお話いただき、ご来場いただいた皆様に活動の報告を行いました。

また、歴代理事長にご協力いただき濱野理事長から中村次年度理事長へとプレジデンシャルリースの伝達を行うことが出来ました。

「～大切な仲間とともに日々の課題に取り組み続ける～」というスローガンを掲げ活動してきた一年を締めくくるに、相応しい例会となりました。

本例会で、歴代理事長より引き継がれた熱い想いを胸に、第50代理事長中村文亮君が更なるご活躍ができる為に、来年も一所懸命に活動を行うことをお約束申し上げます。

ひとつづくり委員会 委員長 挽野 洸

### 新入会員のご紹介

～新しい仲間が増えました！ご紹介します。～



**渡邊 真吾**  
(わたなべ しんご)

職 業：飲食業  
勤務先：有限会社真澄（割烹真澄）

NEW

---



**高橋 美和子**  
(たかはし みわこ)

職 業：運送業  
勤務先：フリーランス

---



**池田 悠樹**  
(いけだ ゆうき)

職 業：酒販売業  
勤務先：ティーイーアイグローバル株式会社

---



**浅原 大輔**  
(あさはら だいすけ)

職 業：飲食業・カウンセラー  
勤務先：合同会社ABAN (MELROSE II)

---



**高橋 璃久**  
(たかはし りく)

職 業：金融業  
勤務先：三井住友信託銀行

## 小金井青年会議所では新入会員を募集しております！

青年会議所（JC）は「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次世代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの経済青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意思によりその住居する各都市の青年会議所に入会できます。40歳までの青年をぜひご紹介下さい。ご紹介いただいた方には、私達からPRに伺わせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

ホームページ  
<http://koganeijc.com/>

フェイスブック  
<https://www.facebook.com/koganeijc/>



編集:小金井青年会議所 事務局

〒184-0004 小金井市本町1-11-8

【連絡先】080-5654-2529（専務理事 柳野沙織）

E-mail:mail@koganeijc.com